

BD外貼りエース

石材・タイル用 変成シリコン・エポキシ樹脂系弾性接着剤

色調
ホワイト

F☆☆☆☆

内外装用



JIS A 5557 基準適合品
官民共同研究品質基準適合品

用途

各種石材、大型タイルの施工

一般建築、ビル、店舗の内外装用

被着材：大理石、御影石などの石材、大型タイル等

使用箇所：内外装圧着貼り

特長

各種の石材・下地に対して接着性、充填性に優れる

天然石材だけでなく、タイル、モルタル、コンクリート、無機質ボード、合板等の各種材料に接着。JIS A 5557. 官民共同品質基準適合品です。

弾性接着剤

エポキシ系接着剤に比べ免震・耐衝撃性に優れます。

施工性に優れる

使いやすい等量混合型で揺変性をもち、ヘラ切れが良く塗布が容易です。

硬化物は白色系

硬化物は白色系の為、白色系石材に使用した場合でも接着剤の陰影が表面に現れにくい。



bond 商事株式会社

BD外貼りエース

石材・タイル用 変成シリコン・エポキシ樹脂系弾性接着剤

■荷姿

1セット（主剤：10kg、硬化剤：2kg×5）
ダンボールケース入

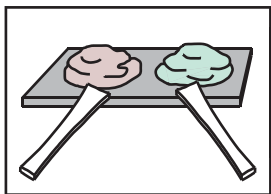
■標準塗布面積

8㎡/20kg（2kg/㎡）※貼り代5mm以下
3㎡/20kg（5kg/㎡）※貼り代10mm以下

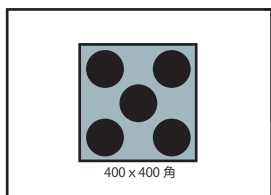
使用方法



▲図1



▲図2



▲図3

1 下地

- 下地材及び仕上材面のゴミ、埃、油脂分、レタンス、離型剤、塗料等接着を阻害する汚れを予め取り除き出来るだけ平滑にしてください。（図1）
- 水分が付着している場合は、乾いた布で拭き取って下さい。
- 下地強度を御確認の上、施工して下さい。
【注意】表面強度の弱い下地への施工は避けてください。吸収率の高い仕上げ材は注意してください。

2 混合

- 主剤（A）と硬化剤（B）をA：B＝1：1（重量比）になるように軽量し、平板に取り出して下さい。全体が均一な色となるように充分に混合して下さい。（図2）
【注意】練り混ぜが不十分な場合、石材汚染を発生させる恐れがあります。

3 塗布

- 石材裏面に、ヘラ等でだんご状に5点付けして下さい。（図3）
- 塗布量は下地精度により異なります。
- 5℃～35℃の環境で使用・保管して下さい。

4 圧着

- 接着剤を塗布した石材を下地にもみ込むように圧着し、水平位置及び面位置を調整して下さい。
- 下より積み上げ方式で貼り付けます。
- 貼り付け高さ3m以下としてください。
- 可使時間（60分）以内に貼り終えて下さい。
【注意】積み上げ高さによっては金具・ビスなどを併用する必要があります。詳しくは弊社までお問い合わせください。

5 仮固定

- 面位置調整後に急結セメント等で仮固定して下さい。

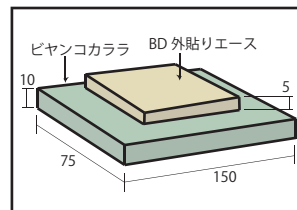
6 養生

- 1日以上養生後、目地詰めして下さい。
【注意】主剤（A）及び硬化剤（B）は体質によって「かぶれ」を起こすことがありますので、手や皮膚に付着させないように手袋を着用するなど、保護して下さい。（万一付着した場合は直ちに拭き取り石鹸水で水洗いして下さい。）

性状

項目	S（夏型）		W（夏型）	
	主剤（A）	硬化剤（B）	主剤	硬化剤
外観	ピンク色パテ状	グリーン色パテ状	ピンク色パテ状	グリーン色パテ状
主成分	エポキシ樹脂	変性シリコン樹脂	エポキシ樹脂	変性シリコン樹脂
比重	1.47	1.43	1.47	1.43
混合比	100	100	100	100
可能時間	60分以内 / 23℃		60分以内 / 10℃	
養生時間	24時間以上 / 23℃		24時間以上 / 10℃	

石材汚染試験



試験

充分混練したBD外貼りエースを大理石板に厚み5mmとなるように塗布する。20℃×7日硬化養生後、下記条件に暴露する。所定時間暴露後、大理石表面の汚染（濡れ色）の有無、及び変色を目視で調べる。

暴露条件

- (a) 80℃、98%RH×2ヶ月
- (b) 60℃×2ヶ月

結果

配合比	暴露条件	
	a	b
A：B		
10：8	○	○
10：10	○	○
10：12	○	○

接着性能

試験項目	BD外貼りエース		官民判定基準		JIS A 5557	
	標準	(N/mm ²)	0.6 (cf75 以上)	0.6 (cf75 以上)	0.6 (cf75 以上)	0.6 (cf75 以上)
引張り強さ	標準	2.6 (100cf)	0.6 (cf75 以上)	0.6 (cf75 以上)	0.6 (cf75 以上)	0.6 (cf75 以上)
	アルカリ温水	(N/mm ²)	0.9 (90cf/10Af)	0.4 (cf50 以上)	0.4 (cf50 以上)	0.4 (cf50 以上)
	熱劣化	(N/mm ²)	3.6 (50Bf/50cf)	0.4 (cf50 以上)	0.4 (cf50 以上)	0.4 (cf50 以上)
皮膜強さ	標準	破断強度 (N/mm ²)	4.20	1.0	0.6	
		伸び率 (%)	77	30 以上	35 以上	
	高温	破断強度 (N/mm ²)	5.80	1.0	0.6	
		伸び率 (%)	82	30 以上	35 以上	
	低温	破断強度 (N/mm ²)	4.90	1.0	0.6	
		伸び率 (%)	100	30 以上	35 以上	
	アルカリ温水	破断強度 (N/mm ²)	2.70	1.0	0.4	
		伸び率 (%)	29	20 以上	25 以上	
	熱劣化	破断強度 (N/mm ²)	4.60	1.0	0.4	
		伸び率 (%)	43	20 以上	25 以上	
	耐熱性		剥落無し	※1	※2	
	ずれ抵抗性		ずれが生じないこと	ずれが生じないこと	ずれが生じないこと	

※1：80℃4週間9.80Nの重りで安定していなければならない。cf：接着材凝集破壊 Bf：モルタル材料破壊 Af：モルタル境界面破壊
※2：80℃4週間1kgの重りで安定していなければならない。

●国際単位系（S I）による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa・s、1kgf・cm=9.8×10⁻²J、1MPa=N/mm²です。1N/mm²は約10.2kgf/cm²に相当します。

お客様へ

●本カタログに記載されているデータ及び内容は、当社の試験研究によるもので、充分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を保証するものではありません。また、使用目的、被着材状態、使用条件等により相違する場合がありますので、予めご需要家各位で試験等の御確認の上、ご使用くださるようお願い致します。

●本カタログに記載されている製品の使用、取り扱い、保管については、必ず説明書および製品安全データシート（MSDS）をお読みください。記載の内容やデータは、当社の試験研究および調査によるもので、充分信頼し得るものと考えておりますが、ご需要家各位において使用された結果を保証するものではありません。また、使用目的、使用条件により相違する場合がありますので予めご需要家各位で試験等の御確認をお願いします。